

# 欧州の年金制度が 直面している 問題

**Krzysztof Pater**

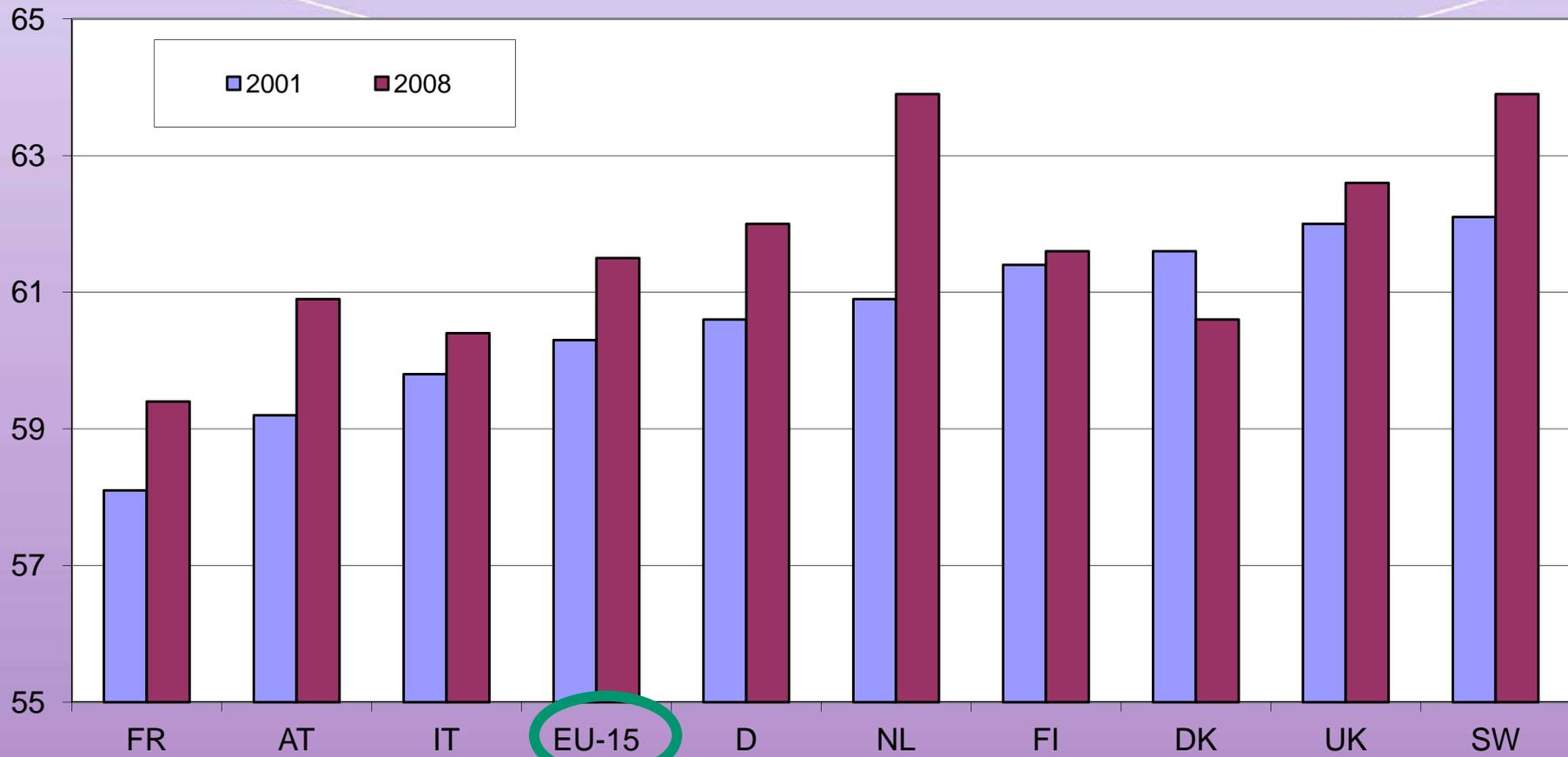


欧州経済社会評議会

- ・ 人工統計学的要因
- ・ 年金に関する  
EU グリーン ペーパーおよび  
ホワイト ペーパー
- ・ 年金制度改革の主要動向

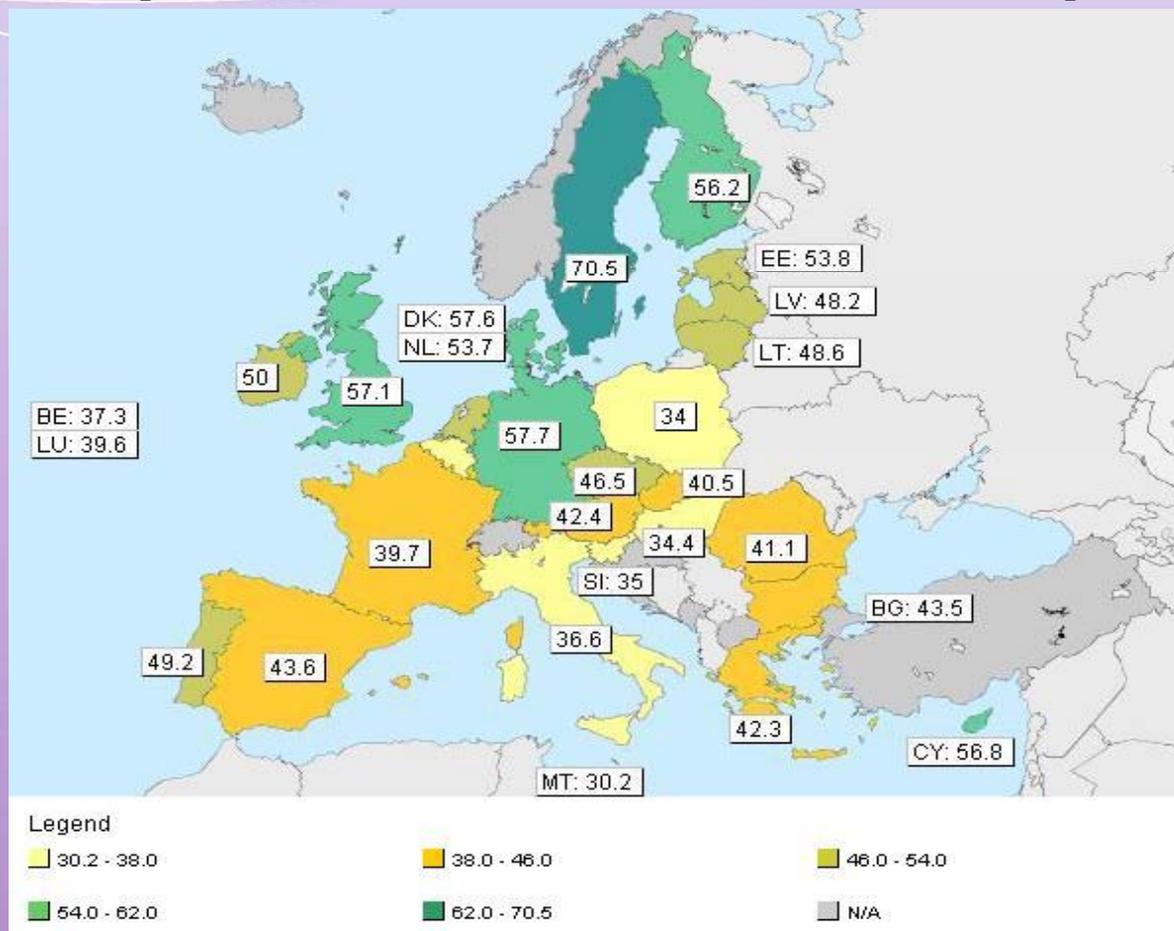


# EU 労働市場 - 満期年齢

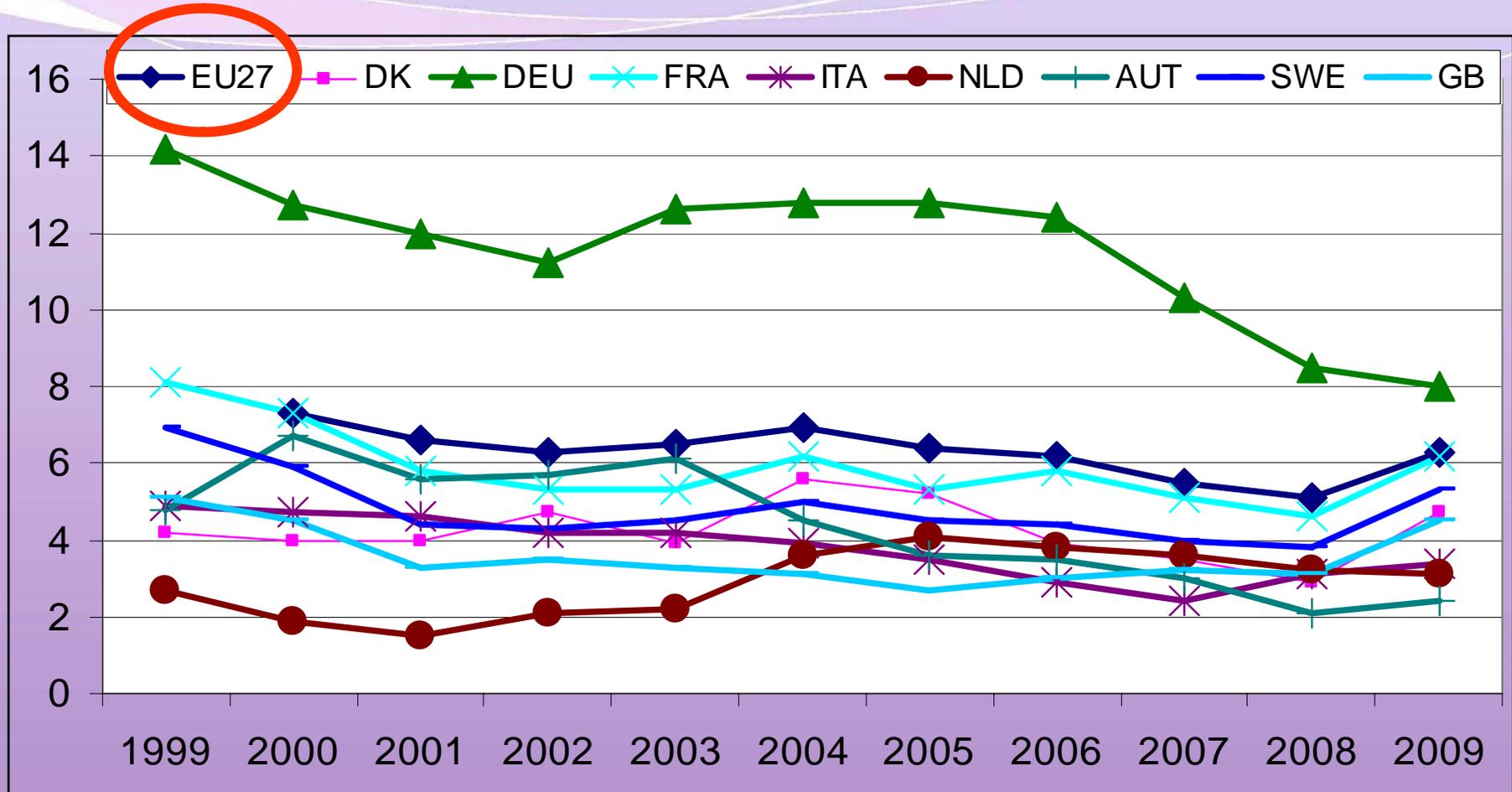


2001 年および 2008 年の平均満期年齢

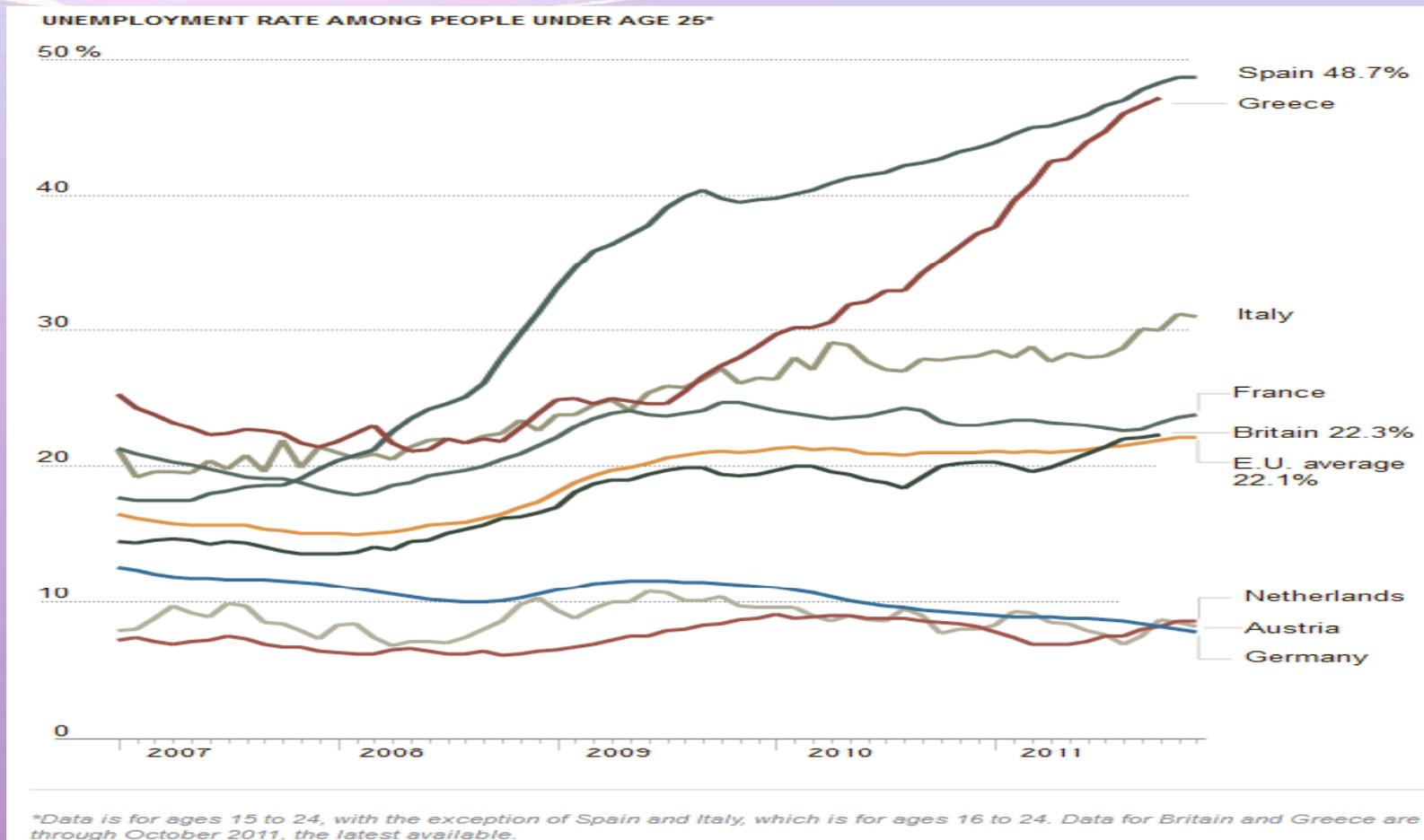
# 2010 年雇用率 (55~64 歳グループ)



# 失業率(55~64 歳)

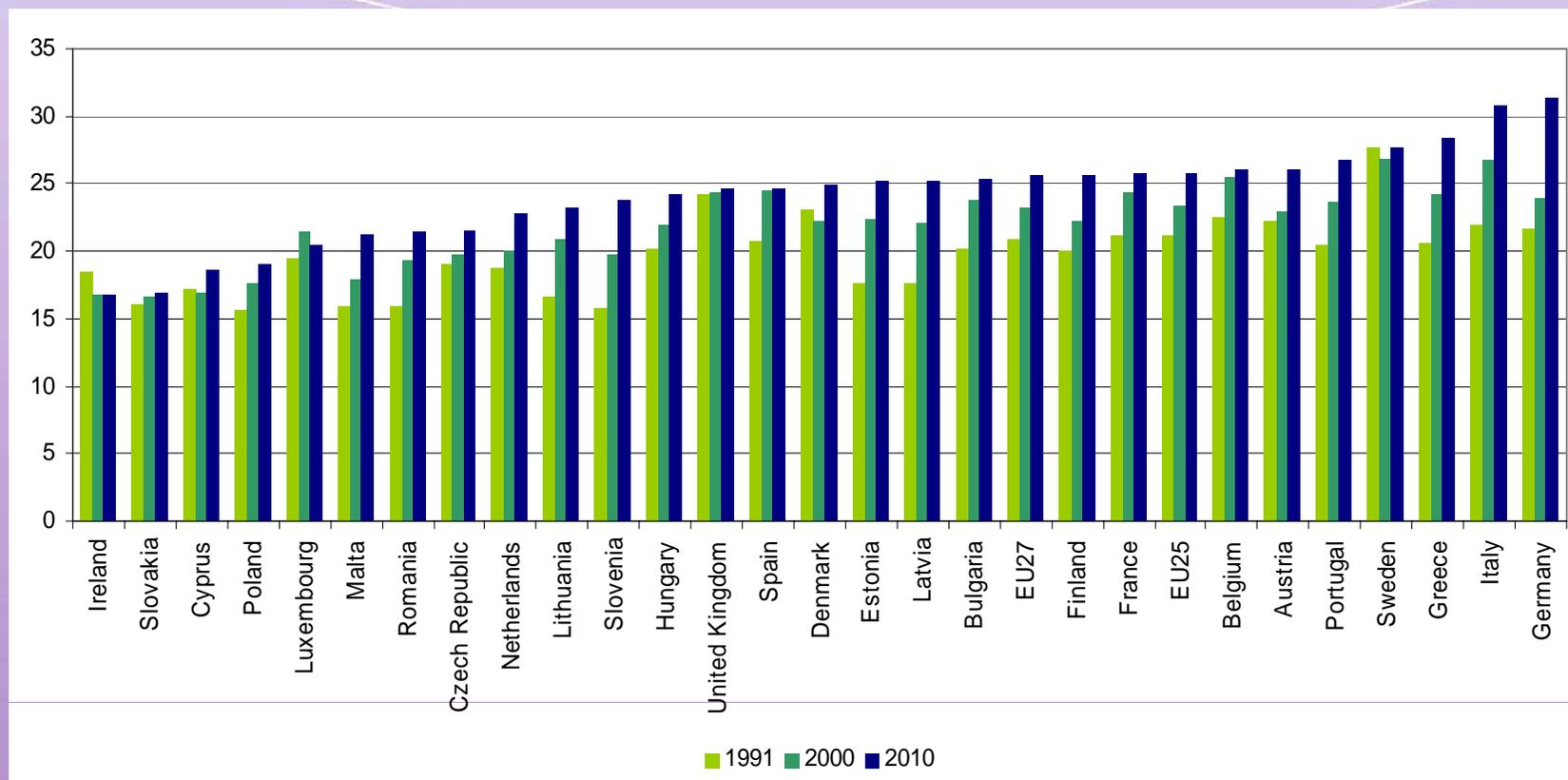


# EU 全体の失業率 25 歳以下のグループ



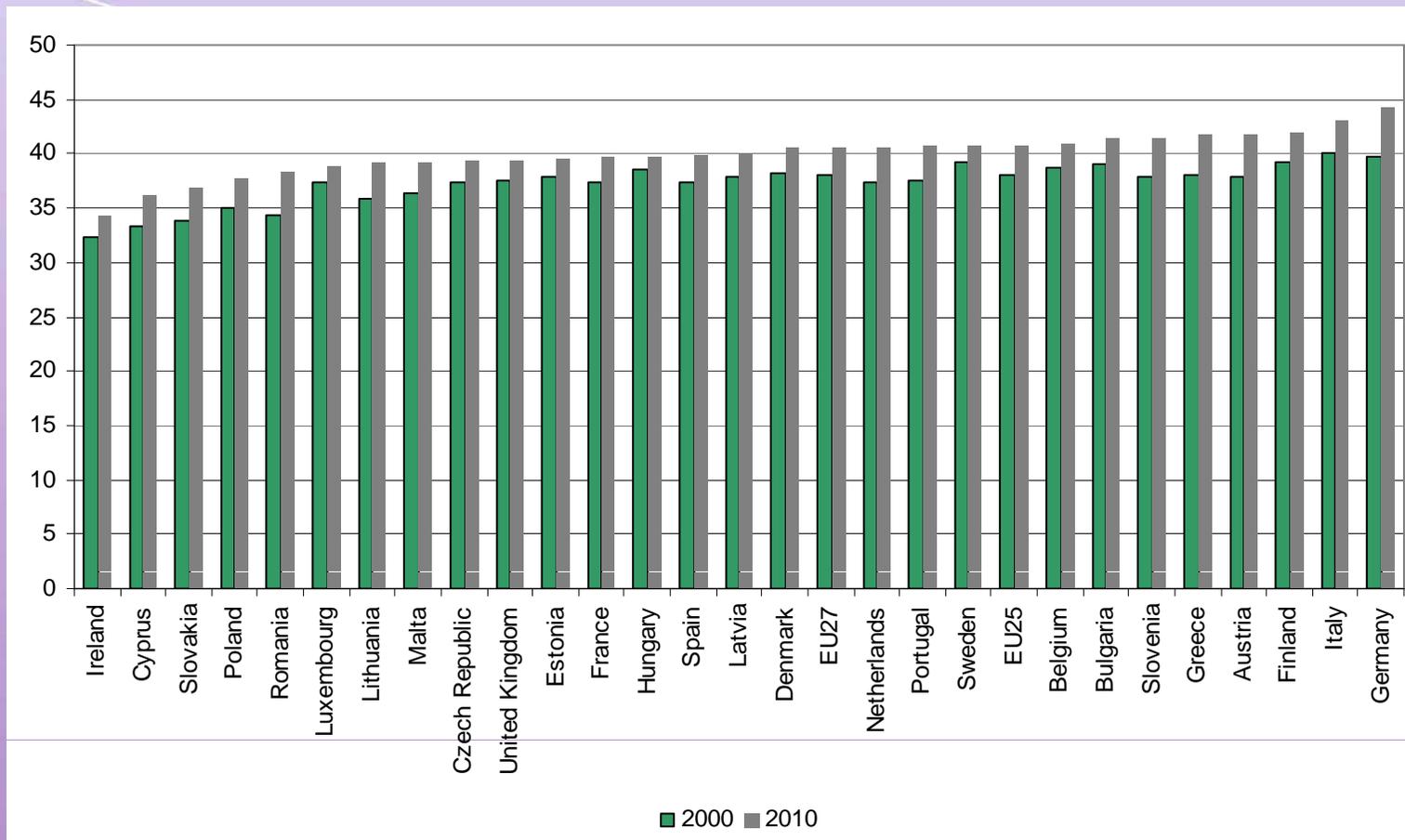
# 老年人口指数 (%)

## 65 歲以上/15~64 歲



出典: Eurostat

# 年齢中央値 2000年および2010年



# 人口統計バランス 2008年～2060年

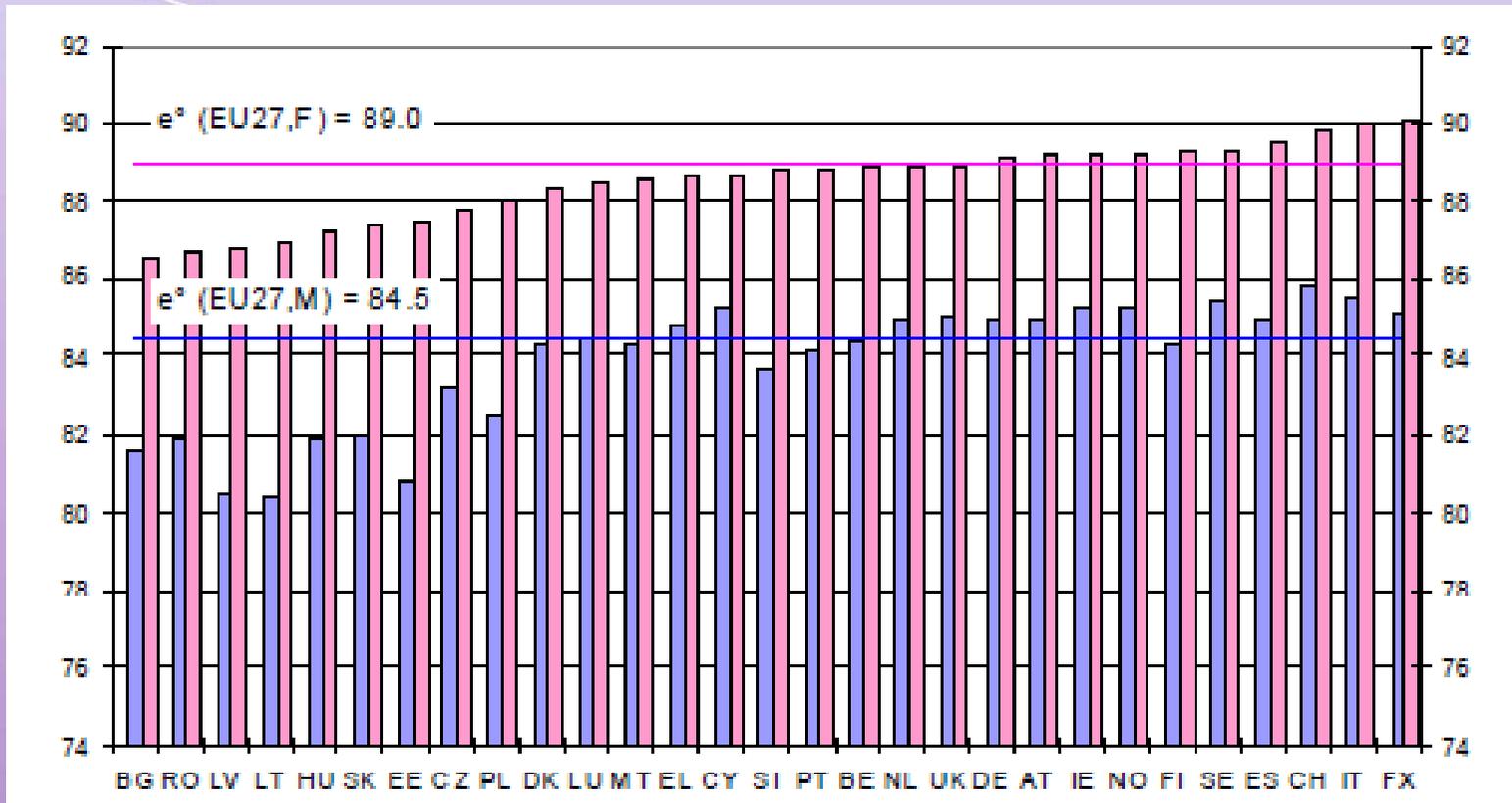
	2008	births	deaths	migration	2060
DE	82.2	32.2	51.7	8.1	70.8
FR	61.9	40.9	35.3	4.3	71.8
IT	59.5	25.5	37.4	11.8	59.4
SP	45.3	23.2	28.1	11.5	51.9
PL	38.1	14.9	22.4	0.5	31.1
UK	61.3	42.4	34.7	7.7	76.7
EU	496	251	299	58	506



欧州経済社会評議会

出典: Europop 2008 (百万単位)

# 2060 年予想寿命



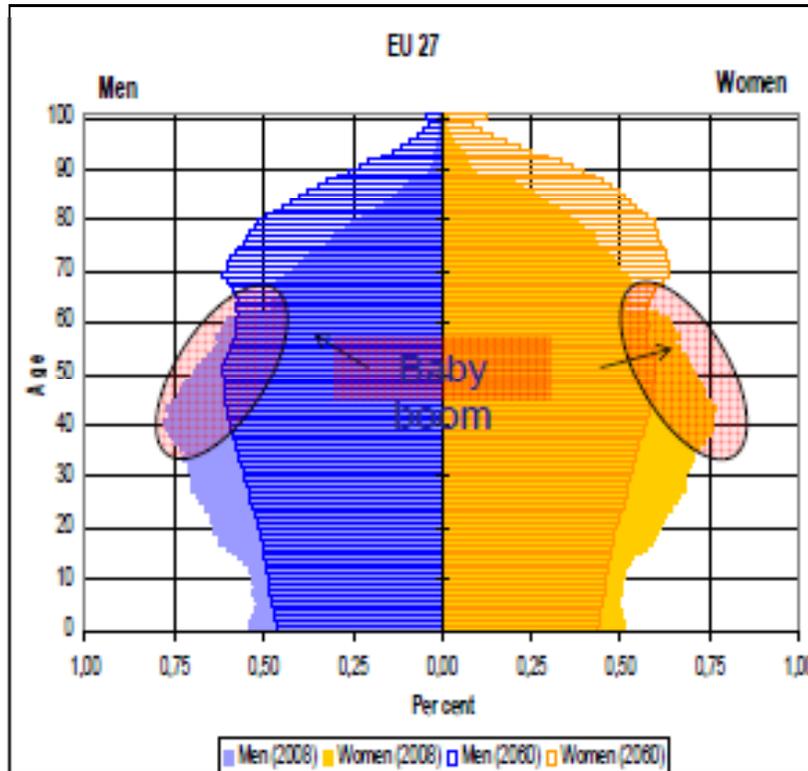
男性: 75.2 女性: 81.5



欧州経済社会評議会

男性: 84.5 女性: 89.0

# 人口統計学的動向



Directorate-General for Employment, Social Affairs and Equal Opportunities - Unit D4

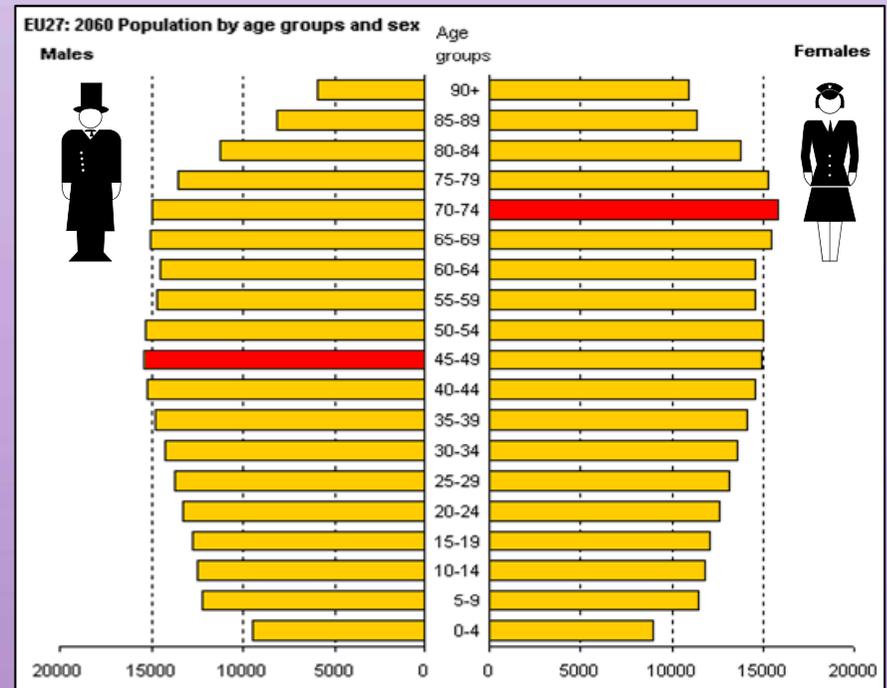
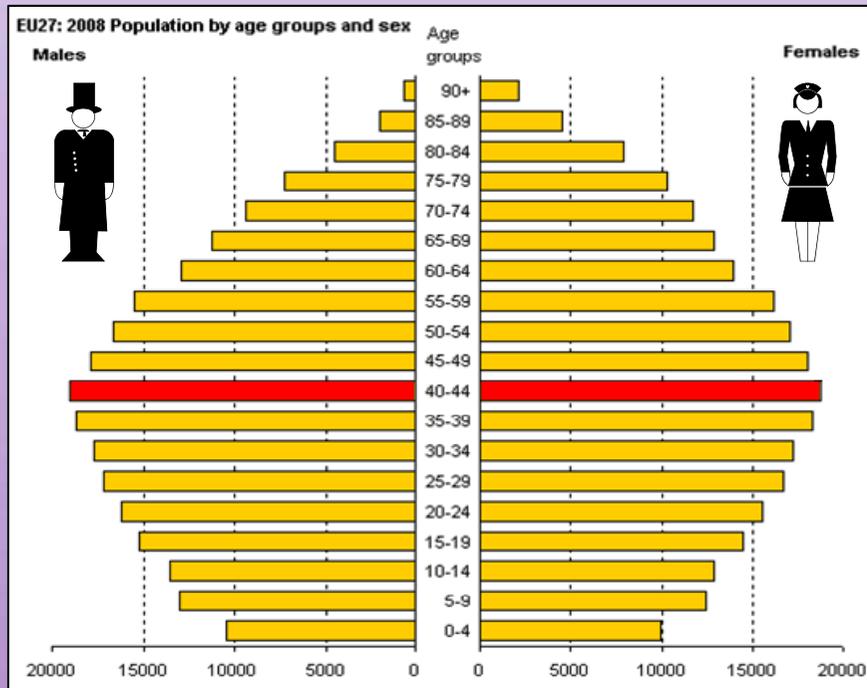
- ベビーブーマーが 60 歳代に到達
- 60 歳以上の人口が毎年 200 万人増加
- 20～59 歳の人口が減少
- 男女間の寿命格差が縮小



欧州経済社会評議会

# 欧州の人口分布

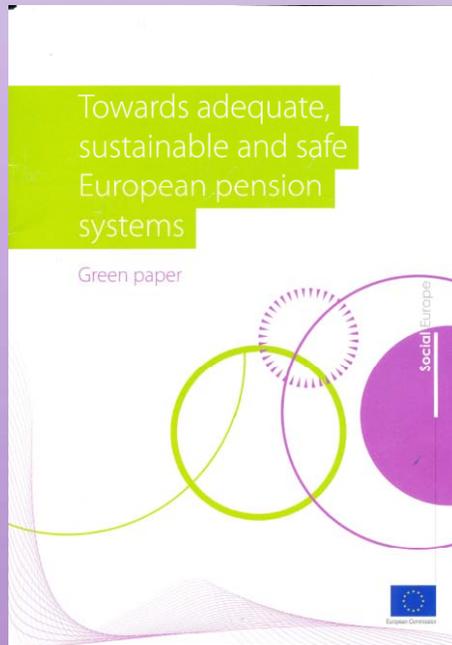
## 2008年および2060年



欧州経済社会評議会

出典: Commission services

# 「適切かつ健全、持続可能な 欧州年金制度の形成」



- ・ 欧州委員会発行の  
グリーンペーパー(2010年7月)
- ・ 欧州委員会発行の  
ホワイトペーパー(2012年2月)



欧州経済社会評議会

# 年金制度改革に対する市民社会の見解 (1)

- ・ 年金制度改革は国レベルで取り組む問題である
- ・ EU 規制が促進あるいは指導する年金改革はない
- ・ 各国の制度は多様であるが、賦課方式の年金支払い義務構想を根本として継続すべきである



欧州経済社会評議会



# 年金制度改革に対する市民社会の見解 (2)

- ・ 実際の退職年齢を現在の法が定める退職年齢にまで引き上げることが最優先である
- ・ 法的退職年齢を超えても労働者に働く意欲を与えるボーナス制度導入が必要である
- ・ 現役から退職への柔軟な移行を促す魅力的なモデルの開発が必須である



欧州経済社会評議会



# 年金制度改革に対する市民社会の見解 (3)

- ・ 法的な退職年齢を引き上げるだけでは問題解決にならない
- ・ 退職年齢や低賃金、長期の育児休暇、長期的な失業となる危険性がより高いことが女性を高い貧困リスクにさらす
- ・ 年金は「報酬」ではなく、後払い賃金もしくは貯蓄である



欧州経済社会評議会



# 年金制度改革に対する市民社会の見解 (4)

- ・ 欧州市民の年金に対する財務的な知識や理解を向上させる必要がある
- ・ 年金統計を行う EU 手順を設定する必要がある



# 年金制度改革の 難しさ

- ・ 国民は改革内容を受け入れない  
あるいは完全に受け入れない
- ・ 改革を先延ばしにしがちな流れ  
は、問題解決を次の政府や次世代  
に先送りする



# 重要な論点

... 長くなった寿命を仕事とレジャーに振り分けるのか

どのように ...

... 長寿ゆえにかかるコストを世代で分担するのか

... 勤務年数と退職後の年数のバランスを取るか



# EU 年金制度の目標

適切な  
年金収入

財政的な  
安定性確保

人民の合意に  
基づく改革

透明性



# 改革の主要動向



- ・ ハイブリッド型年金
- ・ 負債と収益の自己均衡メカニズム



# 年金制度で 最もよく見られる変更

- ・ 拠出期間: 給料がピークである「ベストイヤー」から生涯賃金の平均値へ基準を変更
- ・ 最低限度の年金の受給資格期間の延長
- ・ 男女間の受給年齢の統一
- ・ 年金受給資格年齢の引き上げ
- ・ 等級別料率制度の強化



欧州経済社会評議会



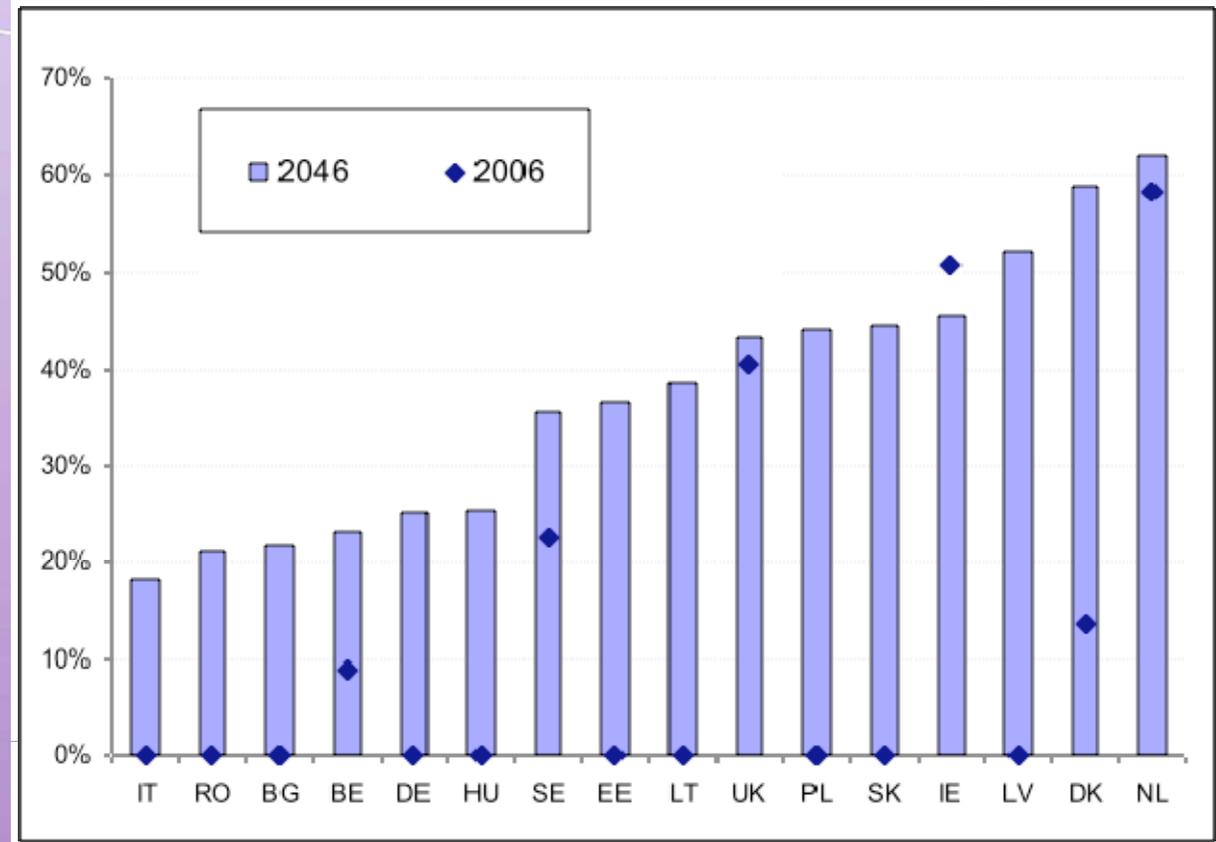
# 人口統計学的な課題に対応する 事前積立ポリシー

- 新しい確定拠出型 (DC) 年金制度
- 既存の退職年金制度の拡大
- 積立金



# 重要度を増す 年金制度の役割

加盟国における  
2006年と2046年  
の退職年金  
および公的年金  
の総所得代替率



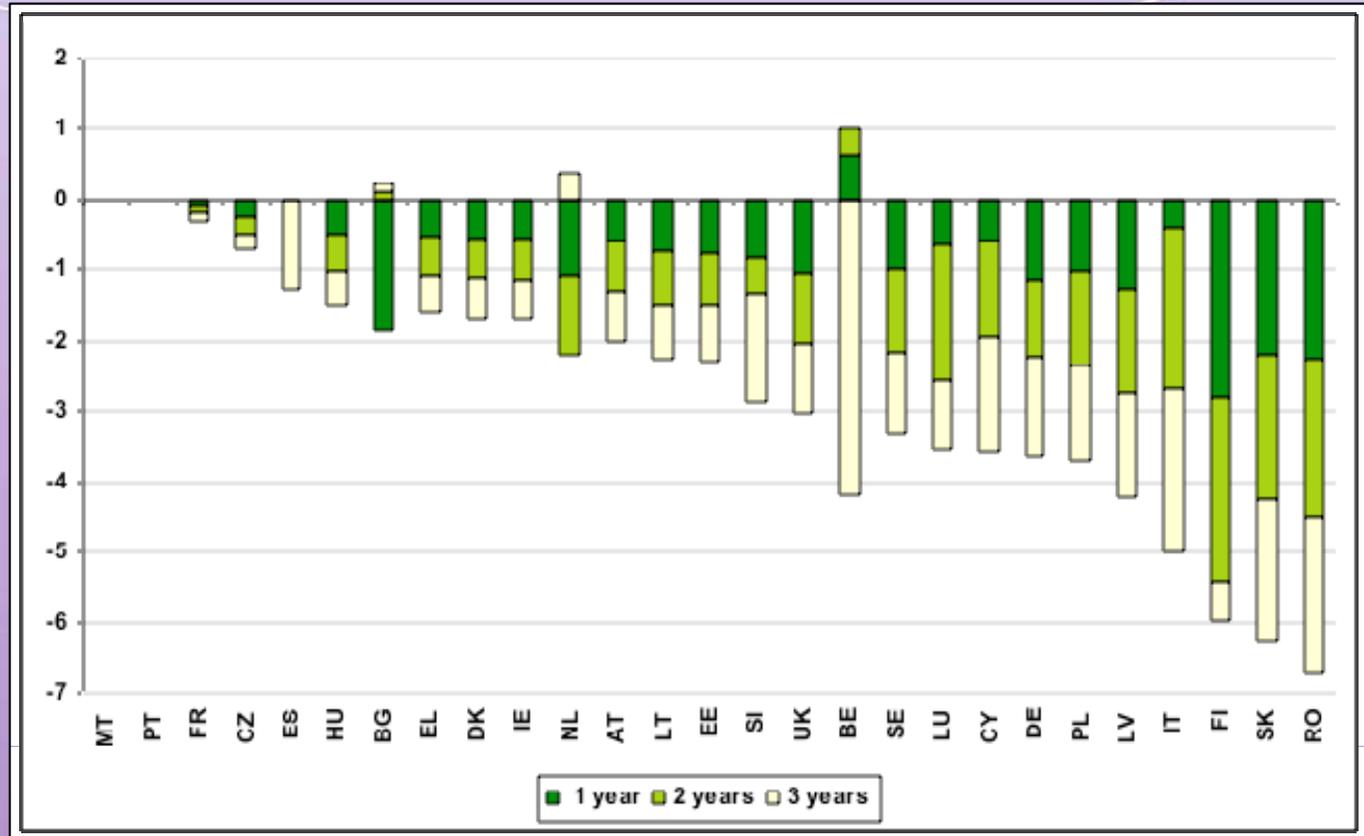
# 物価安定政策と物価スライド制

項目	物価安定政策	物価スライド制
賃金	√	√
物価と賃金	√	√
物価	√	√
任意拠出		√
累進拠出		√

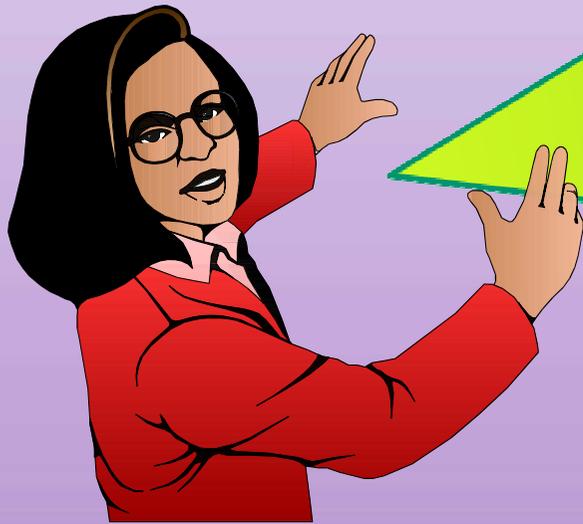


# キャリア中断による 年金給付への影響

25歳で就職した  
平均的所得レベル  
の労働者が法的退  
職年齢で定年を迎  
えた場合、  
失業による1、2、3  
年のキャリア中断  
期間がある者とな  
い者の純所得代替  
率の論理的な累積  
差異



# 結論



- 1) さらなる年金制度改革が必要である
- 2) 危機的状況から学んだ教訓を踏まえて改革を考慮すべきである
- 3) 年金制度は多様な政策間の相乗効果の上に築かれるべきである



ご清聴ありがとうございました



**Krzysztof Pater**

**kpater@gazeta.pl**



欧州経済社会評議会